

町に関する話題など広報係が取材したできごとをご紹介します。

## 町の震災対応の全てを後世に

益城町震災記録誌が第42回熊日出版文化賞を受賞

町が昨年4月に出版した「平成28年熊本地震 益城町震災記録誌」が、第42回熊日出版文化賞を受賞しました。

同賞は、毎年県内の優れた著作を表彰するもので、今回は令和2年出版の約100点のうち3点が受賞。本町の震災記録誌は、今後の減災に役立つ点が評価されました。

3月9日、ホテル日航熊本で開催された贈呈式で、(株)熊本日日新聞社河村邦比児社長から表彰状を受け取った大沼健太郎主査は、「職員一丸となり復興業務に取り組むモチベーションになる」と、感謝の言葉を述べました。

震災記録誌の購入・圖は、総務課 町長公室(☎286-3111)へ。町ホームページで見することもできます。



㊤受賞した益城町震災記録誌 ㊦受賞スピーチを行う大沼主査



「千紫万紅」…さまざまな種類の花がたくさん咲き乱れているさま

## 思い出の詰まった校舎をいつまでも

益城中3年生による卒業制作がお披露目

益城中体育館で3月12日、卒業する3年生全員で制作したレリーフが披露されました。

このレリーフは、3年間通った仮設校舎がモチーフ。新校舎完成に伴い解体される仮設校舎を形に残したいと、生徒たち自らが制作を決めたものです。

披露に際し、制作に携わった松永拓己熊本大准教授が、「全員で協力して作ったことに意味がある」とコメントを寄せ、生徒代表の田中遥さんと黒木紅智那さんが、「このような形で残せることがうれしい」と話しました。

## えんまさん お帰りなさい

寺迫地区の閻魔堂が復旧、閻魔像が遷座

3月14日、熊本地震で全壊となった寺迫地蔵堂(通称・閻魔堂)が復旧し、遷座祭が行われました。

遷座とは、神体などを移動させること。同地区の守り神である閻魔像など5体の木像は、閻魔堂と共に被災し、同地区の公民館に仮安置・修復されていましたが、お堂の復旧に伴い、約5年ぶりに元の場所に帰ってきました。

本田光照寺迫区長は、集まった約70人の地区住民に「えんまさんは寺迫地区のよりどころ。皆さんで協力して守っていきましょう」と話しました。



㊤本田区長を先頭に地元消防団が慎重に運搬 ㊦お堂に座る閻魔像

Best Smile

今月のベスト笑顔

